

第 1 回部活動改革推進委員会議事録

日 時：令和 7 年 8 月 2 9 日 午後 6 時 3 0 分 開始

場 所：虹のプラザ「中会議室」

出欠状況：別紙のとおり

進 行：小林課長

2. あいさつ：鈴木教育長

※今後の方針

「令和 8 年 4 月から休日部活動の廃止、体制の整わない部活動については令和 8 年度中に体制を整備する。活動時間については県のガイドラインを遵守する」ことについて確認した。

3. 協議

佐藤主査	(1) これまでの経過と中学校部活動の状況 (説明) 事務局(佐藤主査)からこれまでの経過について資料 1-1 に沿って説明
安達委員	大石田中学校安達校長から中学校部活動の状況について資料 1-2 に沿って説明。 (追加説明) ・ソフトボール部については総体後、2 年生 1 名のみとなった。1 年生がいないこと、地域内の学校との合同チームも組めない状況であったため、本人や保護者、顧問と話をしたうえで吹奏楽部に転部をしてもらい、ソフトボール部としての活動を行わないこととした。また、今後保護者に周知するが、来年度以降ソフトボール部の募集は行わない考えである。今後ソフトボールをしたいお子さんがいた場合は、東根市にクラブがあるのでそちらを紹介したい。 ・指導者についてであるが、教員数の減少の影響で従来は各部 2 名顧問を配置できたが、現在は 1 名、柔道・剣道については兼務をしている状況。部活動指導員として 3 名の方に平日ほぼ毎日来ていただいております、大変助かっている。 ・陸上部の生徒のうち 2 名はサッカーのクラブに所属している。また卓球部の生徒のうち 1 名が男子バレーのクラブに所属している。いずれの生徒も新人戦はそれぞれのクラブで参加する。 ・部活動の加入率が高いと感じる。一生懸命に頑張る生徒たちの活動の機会が無くならないようにしたい。 ・11 月末に新入生保護者説明会があり、その時に部活動の状況について学校としてしっかり示すことができるようにしたい。

鈴木教育長	(1) について質問・意見等を求める。 →質問・意見無し
鈴木教育長	学校の部活動に対して質問を求める。
森委員	以前、クラブ活動をする生徒に対し町から補助金が出るという話を聞いたことがあるが、どうなっているのか。
小林課長	町の振興実施計画(5カ年計画)に計上しているが、財政的な面から先送りされている状況。部活動地域展開をきっかけに実施されるように財政部門と協議していきたい。
鈴木教育長	(補足) この制度は部活動やスポーツクラブ活動のみならず、学習塾も含めて放課後に活動をしているお子さんに対し毎月補助をするというものであります。来年度から部活動の地域移行が始まることもあり、是非実現するように要望していきます。
大場委員	昨年度までの会議のなかで、令和7年度末で休日部活動が無くなり、令和9年度からは平日部活動も無くなると認識していたが、国の動きや中学校としても部活動を続けていきたいという話があり、意思統一されてよかったと感じている。 土日の部活動が無くなることについてであるが、土日等の練習や試合といった活動の際、スクールバスを出していただいていたが、今後もそのようなバックアップはしていただけるのか。保護者会だけの予算では無理だと思う。
小林課長	土日の活動の際に町ではスクールバスは出さない方針。それに代わるものとして補助金を制度化したいと考えている。金額としては月額5千円を想定している。
大場委員	民間のバス会社のバス借上げ料は把握しているのか。補助金だけではとても足りないと思う。
小林課長	バス借上げの金額は把握していないが、部活動関係でバス会社の運転手に支払う金額としては上限2万円としているが、保護者会から支払いされている金額としては2万5千円から3万円と聞いている。その金額にバスの借上げ料が上乘せされる。町からの配車がなくなる。
大場委員	そうなるととても遠征は無理である。
小林課長	スクールバスをどこまで配車するのかという話にもなるが、公平性の面からもこのような考えとなった。
安達委員	スクールバス40回使用(1回2万円)として予算をいただいている。保護者負担としてドライバーへの費用のうち2万円を超えた部分、ガソリン代などが出てくる。保護者会としてはとても有難い。ただ、現状としては保護者が送り迎えをするといったスクールバスを使わないケースも増えてきたし、ソフトボールが今後使用しないということから年間40回も使わないのではないかと感じている。 ただ、いざとなった時に実費負担のみ負担という形でスクールバスを使用できることは有難いし、中体連の時は公用車使用申請として利用できたことは本当に助かっている。何とか継続をしてほしい。
鈴木教育長	この件について、この場で結論を出すことは出来ないが、引き続き検討していきたいと思う。その他、同様に考えられることについて意見を求める。

大場委員	補助金について、部活に入っていない生徒についてはどうなるのか。
鈴木教育長	部活に入っていない生徒についてもクラブや学習塾等、放課後の活動に支出した実績があれば支給する形式。事後支給となるが、部活をしている、していないに関わらず、放課後の活動を充実してもらうため一律に支給することを考えている。
大場委員	スポーツのクラブと習い事両方をしている場合はどうなるのか
小林課長	現在の制度設計では、支出した金額が月額いくらかというものなので、支出先が複数であっても問題ない。
渡會委員	吹奏楽部についてであるが、楽器はかなり高額であると感じている。今後、楽器が使えなくなったときに町で補助をしてくれるのか。
小林課長	基本的には「学校のもの＝町のもの」という考え。現在使用している楽器については修理を行っていく考え。ただ、今後完全に地域に移行した際、楽器の保管、管理等については模索中である。
鈴木教育長	吹奏楽部に対し、意見を求める。
安達委員	毎年楽器修繕分として 20 万円の予算を付けていただいております。大変助かっている。ただ、最近は物価高騰の影響もあり、修繕の金額も馬鹿にならない状態。先日も木琴の修繕の見積をお願いしたところ 35 万円と言われたところ。生徒よりも年上の楽器も多く、買い替えも検討が必要なものも多い。できる限りのことはしたいと考えているが、楽器ってお金がかかるなと感じている。
鈴木教育長	学校の音楽でも使用する楽器については、学校の備品購入費のなかで更新していくことも可能だと考えるがどうか。
小林課長	楽器が高額であることは十分認識している。予算についても財政にお願いしても簡単に付くものでもない。長い目で考えることが必要だと考えている。
鈴木教育長	令和 8 年 4 月から休日部活動を地域移行するとして、現在の各部活の状況についてどうか。大丈夫なのか、どのような問題点があるか。
桂田委員	野球部はスポーツ少年団の大石田野球クラブがあり、そこで土日の活動を行っている。問題点としては、大石田野球クラブだけでなく、北村山全体で野球クラブを立ちあげる動きがあるが、その活動についても予算面でのサポートがあると有難い。具体的には指導者への謝礼。他市町のクラブではどのようにしているか情報収集をしている。
村田委員	陸上部は JSC と調整している。来年度、土日は JSC と一緒に活動をしていく予定。平日もできるだけ時間を合わせてお互いどんな練習をしているのか分かるように調整している。 コーチの謝礼が課題。現在 JSC では保護者がコーチをしており、ほぼ無償でされている。今後新しい体制となった際、例えば現在中学校でコーチをしている清水さんが引き続きコーチをすることとなった場合、無償でお願いするわけにはいかないのではないかと感じている。また練習日や時間についても JSC と併せなければならないのか、グラウンドを夜間に使用できるのか等の課題点がある。
梅津委員	地域クラブについてはまだこれからであるが、毎週木曜日に大石田 TTC に任意で参加している。大石田 TTC は高校生や社会人も参加している。部員の参加は 3～4 人程度。その活動を土日に延長できないか検討中。

	<p>現在指導者が見つからない状況であり、保護者が輪番で対応している。村山市や東根市に卓球のクラブがあり、一生懸命卓球をしたいという生徒には紹介しているが、費用や送迎のこともあり全員に他市のクラブを紹介はできない状態。</p>
柴崎委員	<p>柔道部は練習時間、活動機会は十分だと感じている。保護者や板垣先生を中心に時間を確保していただいている。夜間や休日（土曜日）の練習の日もある。板垣先生の意向もあり、現在他校（他市）の生徒も一緒に練習をしているが、今後地域移行となった時にその生徒と足並みを揃えて活動できるのかが不安なところである。</p>
柴崎委員	<p>剣道部は火・金の夜に誠剣友会の練習に参加している。休日は練習をしていないので、このまま地域移行となれば週2日しか練習時間が無い状態となる。他市で合同練習があるときは自分が送迎している。今後の地域移行に向けて、平日・土日の練習日数を増やすなどのアクションが必要だと感じている。</p>
黒坂委員	<p>地域に受け皿となる組織が無く、指導者もない状態。生徒は頑張っているで何とかしたいという思いがある。部活動の指導をしていただいている笹原先生が来年度に向けて指導者資格を再取得し、組織を新たに立ち上げるといった話がある。東根や神町にクラブがあるため、参考にしていきたい。また、保護者が協力的に活動しており、保護者同士で連絡を取り合い練習試合を行っている。笹原先生は現在、部活動手当も受け取っていない状態。今後、報酬についても検討が必要。</p>
片桐委員	<p>今後活動を予定していない。団体競技であるため人数を確保できるように、広域的な母体づくりが必要だと考えている。</p>
安達委員	<p>吹奏楽部は地域の受け皿となる母体や指導者もない状態。土日の活動も予定していない。</p>
鈴木教育長	<p>その他質問を求める</p>
高橋委員	<p>各部で使っている備品がある。学校の備品は町の備品という考えでよろしいか。</p>
小林課長	<p>線引きは難しいところであるが、授業で使うものは町で更新することは可能だと考える。今後地域移行が進んでから学校の授業で使わないが部活で使用するものを更新する際は検討が必要。国や県の補助が無いと更新が難しいものがあるため、簡単に言えない部分がある。</p>
高橋委員	<p>遠征等の費用等お金の面で子どもたちの可能性を潰したくないという思いがある。何とか町の支援をお願いしたい。</p>
小林課長	<p>町のスポーツクラブを活用する等制度設計について研究している。できる限り保護者負担が出ないやり方を模索しているが、ある程度の負担をお願いする必要があることを了承していただきたい。</p>
梅津委員	<p>卓球部とバレー部で半々で体育館を使っている状態。練習試合がある時は顧問間で調整していたが、今後地域移行となった場合は土日の体育館は社会体育施設という考えでいいのか。利用調整はどうなるのか見通しが欲しい。</p>
鈴木教育長	<p>学校で使用しない場合は土日は社会体育施設として使用することとなる。今後隣接される小学校の体育館も出来るのでそちらを活用すること</p>

	も可能だと考えている。
桂田委員	今後他市のように大きな母体をつくることは検討しているのか。保険対応等でもメリットがあると思うがどうか。
小林課長	新しく立ち上げるよりもスポーツクラブ等、既存の組織を活用できればと考えている。
村田委員	夜間、土日にクラブでグラウンドや体育館を使用したい時は利用申請が必要という考えでよいか。
小林課長	そのようにしていただきたい。

(2) その他

【今後の進め方について】

・9月下旬（新人戦終了後）

→齊藤指導主事、佐久間部活動コーディネーターが各部（顧問の先生を窓口）に訪問し
実情や来年の4月に向けた取り組みの進捗状況、課題等について聞き取り

・10月中旬

→第2回部活動改革推進委員会開催

・11月～

→（中学校）保護者、先生方、生徒に説明

・11月下旬

→中学校新入生（保護者）説明会

・2月

→第3回部活動改革推進委員会開催